

県立総合衛生学院移転候補地の利活用検討会について

1 設置目的

施設の老朽化に伴い、新長田で移転建替を検討している総合衛生学院について、建替にあわせて地域の賑わいづくり・活性化につながる財産活用方策等を検討するため、外部の学識経験者等で構成される検討会を設置する。

2 検討会設置の経緯

学院の現状

- (1) 所在地 : 神戸市長田区海運町7丁目4-13 JR鷹取駅徒歩10分
- (2) 建物等 : 地上5階地下1階 延床面積 5,226.45 m²
建物(校舎:昭和46年11月取得 車庫:昭和47年5月取得)
- (3) 土地 : 面積 2,289.28 m²、公有財産 249,531 千円
第1種住宅地域、建ぺい率 60%、容積率 200%

- 施設の老朽化が著しい
- 現地建替え、大規模修繕による対応が困難

移転建替えを検討

移転候補地 【別添位置図のとおり】

- (1) 所在地 : 長田区腕塚町5丁目第3工区 JR新長田駅徒歩7分
- (2) 土地 : 面積 2,384.23 m²
商業地域、建ぺい率 70%、容積率 509%

施設整備(案)の概要

- ① 建築可能面積 : 延べ床面積 約 12,000 m²
- ② 総合衛生学院の必要面積 : 約 6,600 m²
- ③ 学院以外での利活用可能面積 : 約 5,400 m² (①-②)

→ 阪神・淡路大震災で壊滅的な被害を受けた新長田地区の活性化を図るため、建替えにあわせて地域の賑わいづくり・活性化につながる施設の利活用方策を検討

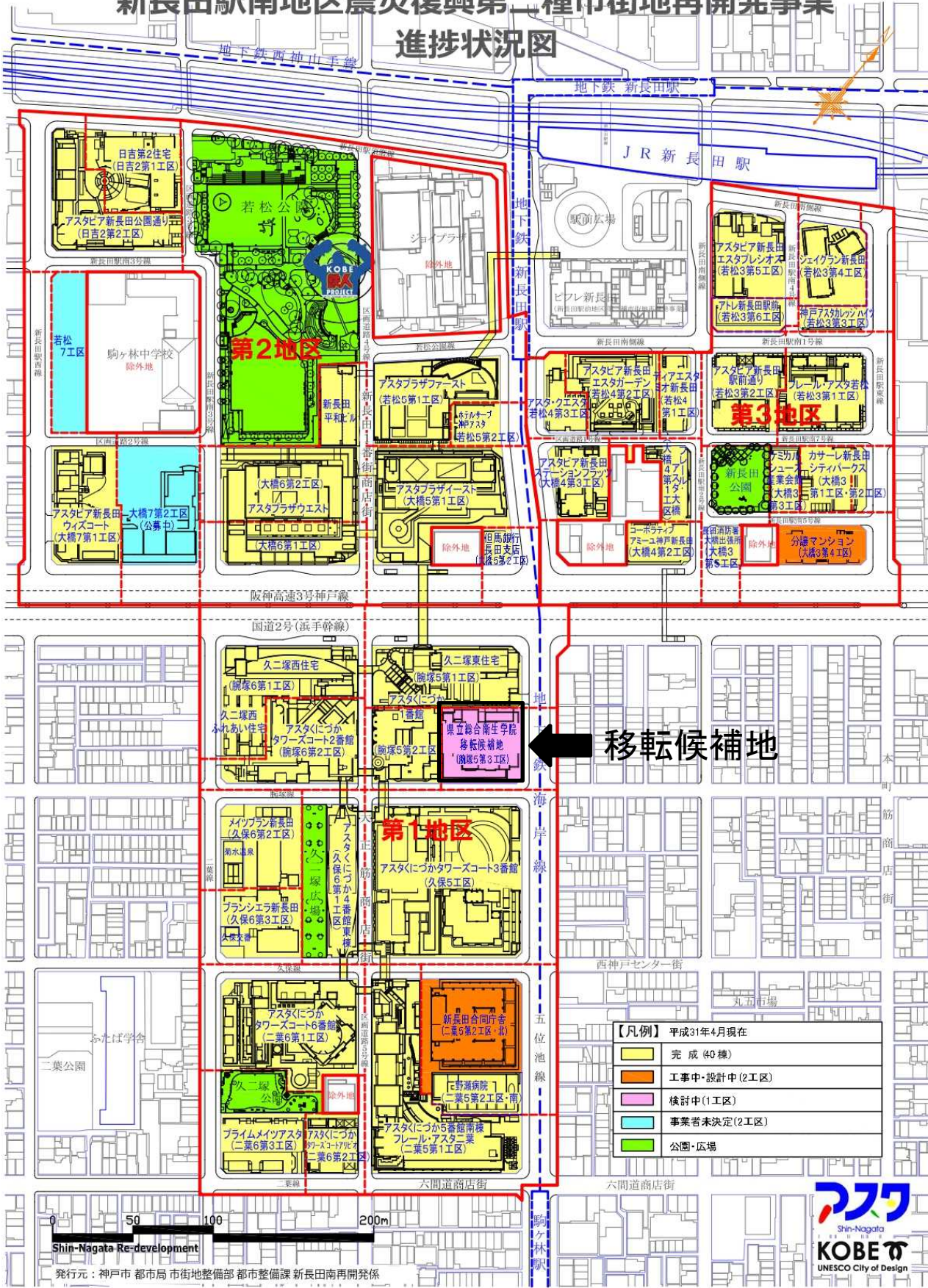


学識経験者等による利活用検討会を設置して検討

3 検討の視点

- (1) 新長田エリアの賑わいづくり・地域の活性化
- (2) 国道2号をまたがる南北エリアの格差是正、回遊性の確保
- (3) 住民ニーズの反映
- (4) 新長田合同庁舎との連携
- (5) 総合衛生学院との連携、学院と同居することの妥当性
- (6) 「ながた緑のプロジェクト」等の新長田エリアで展開するプロジェクトとの整合性
- (7) 利活用方策の効率性を高める整備手法・運営方法

新長田駅南地区震災復興第二種市街地再開発事業 進捗状況図



移転候補地

【凡例】平成31年4月現在

| |
|---------------|
| 完成 (40棟) |
| 工事中・設計中 (2工区) |
| 検討中 (1工区) |
| 事業者未決定 (2工区) |
| 公園・広場 |

